公立幼児教育・保育施設再編に関する職員アンケート集計結果

１．アンケート概要

〇職員アンケート

実施期間　9 月 3 日(木)～9 月 17 日(木)

回答数　104 人／114 人（回答率 91%）

２、アンケート結果

Q1. 現在、勤務している幼児教育・保育施設名を選択してください

安来保育所	15
切川保育所	8
安来幼稚園	3
認定こども園荒島	10
認定こども園大塚	8
認定こども園飯梨	15
認定こども園広瀬	5
認定こども園比田	4
認定こども園安田	10
認定こども園母里	7
認定こども園赤屋	6
島田こども園	3
幼児通級教室・地域子育て支援センター	7
子ども未来課・いきいき健康課・介護保険課・給食教育課	3
合計	104

Q2. 年齢を選択してください。

20代	10
30代	34
40代	25
50代	25
60代	10
合計	104

Q3. 職種等を選択してください。

保育士・幼稚園教諭（任期付園長）	62
調理師・管理栄養士・栄養士	18
会計年度任用職員（フルタイム）	24
合計	104

Q4-1.業務の中で、特に負担が大きいと感じるものを選択してください。（３つまで〇）

【保育士】

日常の保育（子どもへの対応）	40
指導案・日誌などの書類作成	57
行事の企画・準備・運営	56
保護者対応（面談、クレーム対応等）	24
園内の清掃・消毒・環境整備	23
その他	8

（その他　8 件）

・小規模園であることから、子どもの人数が少なく友だち同士の関わりに刺激や変化がなく、保育の難しさを感じる時がある。
・休暇代替えなどの確保とそれに向けた事務作業
・自己研鑽のために必要な研修、保育のために必要な教材準備等も含め、全体的に業務量が多い。
・職員同士の連携
・休暇される職員の代替を探したり、職員の急な休みに対応する保育士がいない
・研修の企画・準備・運営など
・地域の対応
・職員間の関係性、調整

【調理師】

給食の提供（調理業務）	5
献立・発注などの書類作成	4
食育活動・食育計画	8
給食以外の園内業務	6
保護者対応	0
調理室内の清掃・消毒・環境整備	4
その他	3

（その他　3 件）

・特にない
・特にありません
・事務

Q5.ここ数年で、子ども・保護者の変化や少子化などで保育や給食提供などの難しさを感じることがありますか。（１つに〇）

非常に感じる	54
ときどき感じる	42
あまり感じない	8
まったく感じない	0
合計	104

Q6.Q5 で「非常に感じる」「ときどき感じる」と答えた方に伺います。具体的にどのような点に難しさを感じますか。（複数選択可）

発達が気になる子、特別な支援が必要な子の増加	89
外国籍の子どもや、日本語でのコミュニケーションが難しい保護者の増加	20
アレルギー対応や医療的ケア児など、専門的な安全管理の必要性	35
保護者からの過度な要求（クレームなど）への対応負担	5
少子化による園児数の減少や、クラス編成の難しさ	49
その他	4

（その他　4 件）

・加配保育士の配置までは必要ないが、個別に丁寧な関わりを必要とする子どもがとても多い。日頃の保育の中での対応の難しさと、その子の保護者にその子の現状の共通理解と対応についての共有を図る難しさを感じる。

・小人数であることから、遊びの幅が広がりにくかったり、友だち同士の関わりが固定してしまっているように感じられる時がある。

・個々の育ちがそれぞれで、診断がついていなくても個別の対応が必要。（発達がゆっくり、気持ちの面で不安定、保育士との１対１を求める、甘えたいなど）
子育て家族の孤立化等によるメディアに頼らないといけない子育て家庭への対応や保護者の子育てへの支援

・SNS などネット社会での子育てとなっている

Q7. 現在の園児数の減少（またはクラスの小規模化）により、保育運営上で課題に感じていることはありますか。（複数選択可）

行事（運動会や発表会など）の規模縮小や盛り上がりに欠ける	37
同年齢の友だちが少なく、集団行動や社会性を育みにくい	69
職員数が減り、一人あたりの業務負担やシフト調整が厳しい	68
クラス編成（異年齢保育など）の工夫が必要になり、現場の負担が増えた	67
特に課題は感じていない	6
その他	2

（その他　2 件）

・小規模園では、担任がかわらない。行事時の保護者負担が大きい。保護者の関係性の固定化。

・小規模園は元々調理師が一人体制であり、人数にかかわらず離乳食から幼児食の調理業務諸々を一人で行うため、食育指導や保護者啓発の時間がとりにくい。

Q8.現在の園舎・施設・設備について、老朽化や不便さを感じますか。（１つに〇）

非常に感じる（早急な建て替えや移転が必要）	15
やや感じる（修繕は必要だが、まだ使える）	65
あまり感じない（現状で問題ない）	21
その他	3
合計	104

（その他　3 件）

・園児数と施設(調理室）の大きさがあっていない

・園庭が狭い上に、遊具の修繕が進まない。

・施設は修繕されながら使えるが、災害、地震などにはとても子どもにとっては危ない

Ｑ９．一般的に子どもにとって「集団としての適切な規模」は、1 学年（同年齢）あたり何人程度が必要だと思いますか。（１つに○）

5人未満	1
5人～10人程度	40
11人～20人程度	57
その他	6
合計	104

（その他　6 件）

・年齢や活動によって、適切な人数は違うと思います。

・10~25

・各年齢によって違うように思う

・1・2 歳児は 5 人未満。３歳児以上は 1 学年 5 人以上が必要。

・年齢によって違うと思います。未満児から３歳児さんにとって少人数のクラスは個々に合わせ個別でしっかりとかかわってもらえ、安心して過ごせる環境であると思います。年長児になると、１１人～２０人程度の集団が良いのではないかと思います。

・子どもさんの年齢によって人数は違ってくると思います。

Q10.子どもにとって、園全体で園児は、何人ぐらい必要だと思いますか。（１つに○）

（園の全体の適正人数）

10人～20人未満	4
20人～40人未満	37
40人～60人未満	53
60人～80人未満	6
80人以上	1
その他	3
合計	104

（その他　3 件）

・分かりません。

・30 人～50 人

・園舎の広さにもよると思いますが、一つの学年が１０以上と考えると０～5 歳児だと６０～70 人欲しいです。しかし、狭い園だとその人数は無理です。遊戯室が自由なスペースとして確保できる人数が良いです。

Q11. 園児数の減少により、園の再編も検討していかなければなりませんが、幼児教育及び保育施設の再編についてどうお考えですか。（１つに○）

賛成	33
どちらかといえば賛成	51
どちらかといえば反対	3
反対	3
どちらでもよい	14
合計	104

Q12. 上記 Q11. で「賛成、どちらかといえば賛成」を選んだ方にお聞きいたします。再編する場合に期待することを選択してください。（３つまで○）

友達が増え、励まし合ったり、競ったりすることでよりよい成長が期待できる	68
希望する幼児教育・保育施設に入所しやすくなる。	16
保育環境（職員配置等）が整い、子どもたちの生活環境がよくなる。	67
予算が集中することで、効率のよい幼児教育・保育施設の運営が期待できる。	25
幼児教育・保育施設の施設整備が進み、快適な保育環境及び地震などの災害に	33
催事（イベントや行事）に多くの方が参加し、活気が出てくる。	4
その他	2

（その他　2 件）

・色々な考えの友だちがいることを幼少期から見たり触れたりすることで、子どもたちの暮らしが豊かになっていくのではないかなと感じるから。

・職員体制に余裕ができることを期待する。

Q13-1.上記 Q11 で「賛成、どちらかといえば賛成」を選んだ方にお聞きします。公立の再編はどのような形の再編がよいですか。（２つまで○）

子どもが成長できる環境を重視した再編	67
幼児教育・保育施設の規模を重視した再編	19
保護者の利便性や地域意向を踏まえた再編	26
小学校へのに接続に配慮した再編	26
施設の安全性・立地を重視した再編	18
その他	0

Q13－2 上記 Q11 で「反対、どちらかといえば反対」を選んだ方にお聞きします。なぜ、再編しない方がよいとお考えですか。（３つまで○）

住み慣れた地域の幼児教育・保育施設がなくなる可能性がある。	3
幼児教育・保育施設が遠くなる可能性がある。（送迎の負担が増える）	1
伯太や広瀬などの中山間地域の保育施設がなくなる可能性がある。	2
地域が広域となり、地域との密着性が薄れる。	2
園舎、先生、お友だちなど保育環境の変化による子どもたちへの影響がある。	2
新しい環境になることに不安がある。	1
園の規模(児童数)が大きくなり、目が行き届かなくなる不安がある。	1
地域が広域となり、地域との密着性が薄れる。	2
保護者会の活動に不安がある。	0
その他	0

Q14. 施設の再編により「職員が集約され、手厚い保育、調理ができる」場合、再編に賛成ですか？（１つに○）

賛成	75
条件付きで賛成	9
反対	1
わからない	19
合計	104

（賛成条件：19 件）

・手厚い保育は大切だと感じるが、通うことが難しくなる地域のご家庭への何らかのサポートも必要
・施設の編成は現場で働く職員の意見を聞いて欲しい。
・人数配置をきちんとした上で、さらに職員を配置して欲しい
・手厚い保育では、気になる子どものサポートや一人ひとりの子どもの気持ちを大切にする保育ができる体制にしてほしい。
・再編内容による
・働きたい職員の職場を奪わない（効率化を優先するあまり過度な人員削減をしない）
・クラスに対して正規の人数をきちんとあてる
・新規採用を毎年２人以上確約すること
・様々な保育に対応できるよう職員に話をしてもらいながら研修などしてほしい

Q15. 再編を進める際、行政が「最も重視すべき基準」は何だと思いますか。（１つに○）

子どもの育ち（集団の規模、多様な人間関係の経験）	71
保護者の利便性（自宅からの距離、送迎のしやすさ）	5
施設の安全性（耐震性、老朽化の度合い）	4
職員の確保や配置の効率化（持続可能な運営※私立との連携）	22
その他	2
合計	104

（その他　2 件）

・環境が変わることへの子どもさんと保護者の方の気持ちを大切に考えること、安心して過ごせるよう個に合わせた丁寧な移行支援。
・今の子育て事情の中での子どもの育ちを考えた国の基準ではない職員の配置基準

Q16. 実際にあなたの園が再編の対象となった場合、最も不安・懸念に思うことは何ですか。（2 つまで○）

勤務地が変わること（通勤時間の増加や異動）	15
担当業務や役割の変更	39
異なる園の文化やルール、新しい職員人間関係への適応	51
大規模化による、子ども一人ひとりへの目配りの難しさ	48
保護者からの不満やクレームへの対応負担	16
その他	6

（その他　6 件）
・子どもたちが新しい環境で安心して過ごせるような環境を作っていくこと
・特にない
・会計年度職員の雇用の有無、さらなる少子化に伴い今後の会計年度職員の在り方がどうなっていくのか不安。
・雇用してもらえるかどうか
・利用者及び、支援や納税をして支えてもらっている地域の方への納得のいく再編になるように関わらなくてはいけないこと。
・仕事が無くなるかもしれない不安

Q17. 再編によって園の規模が「大きくなる（大規模・中規模化）」ことで、あなたの「保育業務」や「働き方」において、メリットになると思うことは何ですか。（複数選択可）

職員数が多くなり、急な休暇（有給・体調不良など）が取りやすくなる	41
業務分担が進み、1人あたりの行事準備や事務作業の負担が減る	64
同一学年の複数担任制などにより、保育の相談や協力がしやすくなる	57
多様な経験やスキルを持つ職員と働くことで、自身のスキルアップにつなが	46
多彩な遊具や広い園庭など、充実した施設・設備環境で保育ができる	18
クラス数が多くなることで、子ども同士の多様な人間関係や集団活動を経験	58
配置基準に対する職員の配置に余裕が生まれ、休憩時間がしっかり確保でき	30
メリットは特にない	2
その他	1

（その他　1 件）
・例えば職員数が増え職員の配置に余裕が生まれるのであれば、一人ひとりに目が行きやすくなったり、手厚い保育がしやすくなったりするのではないか。

Q18. 逆に、園の規模が「大きくなる（大規模化）」あなたの「保育業務」や「働き方」において、デメリット（懸念点・不安）　は何だと思いますか。（複数選択可）

子どもの人数が増え、一人ひとりの発達や体調の変化に目が届きにくくなる	49
けがや事故、感染症（集団感染）のリスクが高まる	31
園全体のルールやマニュアルが増え、個別の状況に応じた柔軟な保育がしにく	16
職員数が多くなることで、スタッフ間の意思疎通や情報共有が難しくなる	65
行事の規模が大きくなり、企画・準備や当日の運営にかかる負担が増える	28
保護者の人数が増え、一人ひとりとの丁寧なコミュニケーションや関係構築が	30
異なる園同士の再編により、これまでの保育方針や園風のすり合わせに苦労す	41
登降園時の送迎対応などの周辺業務が増える	4
デメリットは特にない	9
その他	0

Q19. 再編を進めるにあたり、公立の園が「担う機能・役割」は何だと思いますか。（３つまで○）

特別な支援が必要な子ども（障がい児保育・医療的ケア児など）の積極的な受	76
外国籍、経済的困窮、虐待リスクなど、配慮が必要な家庭（要保護児童）への	47
地域の民間保育施設に対する、保育技術や専門知識の共有・研修の場（地域の	29
一時預かりや子育て相談など、在宅育児家庭も含めた地域全体の子育て支援の	49
災害時における避難所への指定や、緊急時の子どもの安全確保・受け入れ体制	10
自治体の方針（子育て政策）をいち早く現場に反映し、実践・検証するモデル	5
私立園の撤退や定員割れに左右されず、地域に必要な保育枠を安定的に確保し	42
地域の伝統行事や世代間交流など、地域コミュニティと子どもたちをつなぐ役	21
その他	0

Q20. R9 年 3 月には施設の再編方針を決定する予定ですが、方針決定から施設の再編までの準備期間は、どの程度が望ましいと思いますか。（１つに○）

できるだけ早く再編を進めるのがよい【目安：R10・R11から再編】	26
ある程度時間をかけて再編を進めるのがよい【目安：R12・R13から再編】	48
十分な時間をかけて再編を進めるのがよい【目安：R14以降】	12
よくわからない・とくにない	18
合計	104

1. 子どもの育ち・集団規模に関する課題

- 小規模、少人数保育の異年齢で育つ部分もありますが、3歳以上児は友だちとの関わりの中で成長していくところが多いので、1学年1人ではその部分が育ちにくいのではないかと思います。以前休園した園では、次に移行する園が決まっていたので、そのための交流を計画的にできたのですが、現在の園は選択肢が多く保護者の方も迷われているため、計画的な交流の難しさを感じています。
- 保育士一人に対しての子どもの保育人数が多く、きちんと一人一人の子どもと関わる事ができず、手のかかる子どもばかりと関わり、おとなしい静かな子どもとはなかなか関われず申し訳ない思いをする事があります。一人一人、丁寧な関わりができる手厚い保育を期待します。
- 園全体で 10 人を満たない人数、年長児で 5 人を満たない人数では子どもの心の育ちは不十分であると思われる。とは言え、大人数が良いとは言えず、昨今の家庭状況や発達状況は変化しており、対応についても知識や対応能力が問われるようになってきている。公立施設がこれまで研修や習得してきた知識-を活かし、安来の子どもや保護者が安心できる施設を目指していくことが必要である。また、職員人数も余裕を持って子どもたちを保育できる環境を整えることが大切であると感じている。
- 大規模園になるまでの再編になると職員も保護者も負担が大きくなる感じる。大規模までいかずとも子どもが程よく集団生活、経験ができる規模にして行って欲しい。保護者は現状から動きく事をためらう方も多いかとおもうが、多方面のメリットを伝えたり、小学校統合とも繋がっていくことを早めに説明され、早く話をすすめられたほうがいいと思う。

2. 再編の必要性と期待・地域や小中学校との接続への視点

- 公立幼稚園・保育施設の児童数は年々減少している。子どもたちが一定程度の集団で保育を受けることができ、安心した生活を送れるよう、より一層配慮していかなければならない時が来ている。
- 一人ひとりの気持ちを大切に受け止めながら、心を豊かに育てていくために、子どもたちの事を一番に考え、保護者の方のニーズや要望も考慮しながら、先を見通した再編をしっかり考えた上で、進めていく必要があると考える。
- 再編することで、子どもの減少がさらに進んでいくのではないか、園が遠い地域は、人口の減少につながるのではないか。小学校や中学校も含めた影響も考えての再編を考える。保護者の負担（送迎）をどう考えるかということも心配です。
- 再編は安来市在住の皆さんにとって幸せに暮らすために行うものであり、公立が担う役割をしっかりと見定め、前向きに取り組むものであると思います。課題があることはとてもいいことなので、皆さんから出たご意見をもとに手を取り合って再編に向っていけたらと思います。
- 保育の業務に携わって 30 年以上経ちました。少子高齢化を感じています。保護者の方は、

送迎が大変かと思われますが、小学校で一緒になるならこども園から一緒でも良いのではと思います。良い施設を建ててほしいです。

- 学校校区に合った園に入りたい希望もある中で保護者の方の意見を取りに入れてしてほしいです。公立に入りたかったけど、、などの声もよく聞きます。
- 現在の地区には教育後援会があり、人的にも資金的にも文化的にも援助がある状態なので、途切れてしまうことを惜しいなと感じています。地域で子どもが育てられない時代に適応していく必要は理解しつつも、地域の方の思いや、利用しておられる保護者の思い、子どもたちが今とてものびのびと成長している現状があるので、悲しくも感じます。今後このような地域が増えていくことも仕方の無いことだと思っています。また、松江、出雲の幼児施設が感じている、園の多さから連携は行政に任せざるを得ないという状態（架け橋期のカリキュラム作成など）も、安来では異なると考えます。出雲のようにムラタ製作所の企業幼児施設などができたとしても、再編後安来の良さをなくすことなく幼児教育が進められていくことを願います。
- ①保護者を含め地域理解は必須であり、保護者の利便性（生活リズムをあまり変えないような）や地域活性に求められる思いは理解できるものの、子どもの育ちに視点をおいて望ましい経験ができるような人数構成を望む。②小学校編制のように予定移行年度を決めて示してほしい。保護者からも見通しを希望する声が以前から寄せられている。
- 今後のあり方について、現場の意見を聞いていただけることがありがたいです。少子化が急速に進む中で、再編はやむ負えないことと理解していますが、それが子育て世帯の過度な負担になり、さらに少子化が進むのではなく、「安来で子育てして良かった」、「安来市の子育て環境ならもう一人産みたいな」とたくんさんの方が思ってくれるような施設の在り方と、安来市としての子育て政策が進むことを願っています。
- 一生の中での子どもの大事な乳幼児期は今しかないので、早く検討を進めて言ってほしいと思います。今、子育てをしている保護者の意見を重視してほしいと思います。
- 出生数が減り、保育所の再編の必要性を感じます。子どもの育ちを保証して保護者の子育てのしやすい安来市をめざしていきたいです。
- 今回の安来保，幼稚園のこども園化の進め方には周知をする順がどうであるのか疑問に感じました。誰が異動をして所属になるのか分からない中、自分事として考えなければならないと思うのですが、、、。1月の地震時、ダメージの大きかった母里の施設のことを考えても、安全面はもちろん今後の在園児数を含め、安田と合併をする編成を考えました。小学校区の編成も視野にあるので、地域の壁を越えて核となる園への編成が必要と感じます。保育者の人員配置についても、そうすることで、年齢別での単独クラスの暮らしは子どもたちの安心・活動の充実につながると感じます。みんなの意見を反映した編成が望まれます。

3. 職員体制・人員配置に対する不安と条件

- 安来市に生まれた子どもたちが安心して幼児教育を受けれるように正規職員の充実。そ

のために職員は保育の資質向上を図る自己研鑽をする意識を持っての再編であってほしい。

- 園が再編されて、園が少なくなっても、職員が充分に確保されるのか？事務職員に充てられはしないか？保育や給食を運営するにあたり、不安がないように再編などを行っていってほしいです。こどもにとっても、生活していくのに影響がないように再編をお願いします。職員が少なくて話が違う…ということにならないようにお願いします。
- 再編成することには賛成です。しかし、施設数が減るから保育士の数を減らしてもいいという安易な考えにならないか危惧しています。保育ニーズの多様化や発達面で支援が必要な子どもが触れていること、時代と共に保護者の子どもへの向き合い方の変化、子育て力の低下を感じているため、一人ひとりの子どもを育てていくための質の高い保育を提供するために保育士の採用を毎年必ずしてほしいです。

4. 移行プロセス・保護者対応・地域理解への配慮

- 保護者への丁寧な説明が最も大事だと思います。メリットはあるとしても、環境が変わる事は、どの家庭、どの子どもさんにとっても負担になり得るので、配慮して進めて頂きますようお願いします。
- 今まであった物がなくなる、変化することへの戸惑いや不安不満などの保護者や地域住民の方の思いを理解してほしい。その上でしっかりと現状や今後の見通し、なぜ再編が必要なのかを伝え、理解してもらうことが必須。
- 再編する施設同士が規模や園児数によらず対等に再編合併などできること。また、再編するには今までの保護者会のあり方、保護者会費の使い道や管理者も各施設で異なることも予想されるので、そうしたことも一つ一つ整理していくこと。再編したあと、両施設の子ども達だけでなく保護者同士も気持ち良く過ごせるようにしてほしいです。 あと、再編されるまでの期間、両施設の子ども達が交流するために安来市から無料バスを用意してもらって行き来できるなど、子ども達も安心して一緒に過ごしていくための工夫も必要になってくると思います。
- 地域の方々はこども園をとても大事に思ってくださっています。園も地域の方々との深い関わりを日々大切にしながら過ごしています。だからこそ、再編などについては保護者はもちろん地域の理解が必要不可欠です。
- 変化していくにあたって、大人も大変だが、子どもは大人以上に変化の大変さと心の負担を感じると思われるので、移行期は手厚い人員配置を確保してケアできるようにしてほしい。

5. 行政の進め方・現場の意見反映への要望

- 編成するまでに現場で働く職員の意見を聞いて欲しい。（管理職、副園長、中堅、若手などいろいろな立場からの意見を聞いてからにして欲しい。）また、急なこととなれば、保護者

からも不安、不満の声があがると思うので、保護者への説明は事後報告ではなく、ある程度方向性が決まった時点で、話をする機会をつくって欲しい。

- 公立施設のあり方について、職員間での話し合いを重ねて納得した方向が出せるとよいと思う。また、公立の役割を明確化し進めてほしいと思う。

※自由記述については回答者が特定できないよう一部内容を編集しています。